

# グローバル8資産ラップファンド (安定型／中立型／積極型)

<愛称：グロ8 (安定型／中立型／積極型)>

追加型投信／内外／資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

各ファンドは、実質的に国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券、新興国株式、新興国債券、世界リート、コモディティ等の各資産へ投資を行い、世界の様々な資産に分散投資を行うことにより、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年10月13日～2021年10月12日

第6期		決算日：2021年10月12日
第6期末 (2021年10月12日)		
		グローバル8資産ラップファンド (安定型)
基準価額		10,838円
純資産総額		1,440百万円
第6期	騰落率	5.5%
	分配金合計	0円
		グローバル8資産ラップファンド (中立型)
基準価額		11,632円
純資産総額		561百万円
第6期	騰落率	11.0%
	分配金合計	0円
		グローバル8資産ラップファンド (積極型)
基準価額		12,519円
純資産総額		288百万円
第6期	騰落率	17.8%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

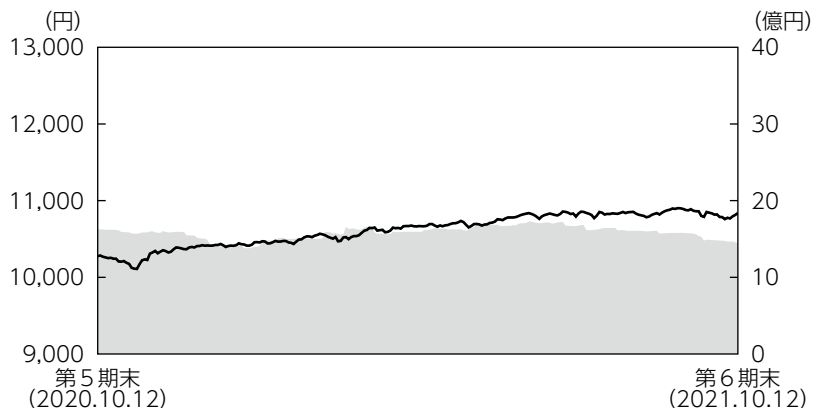
アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

グローバル8資産ラップファンド（安定型）

### 基準価額等の推移



第6期首：10,277円  
 第6期末：10,838円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：5.5%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) - - 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国の大統領選挙を巡る政治不透明感が払拭されたことや、新型コロナウイルスワクチンの接種拡大による経済活動正常化に対する期待の高まりを受けた内外の株式市場、内外リート市場、商品市場の上昇がプラスに寄与しました。また、為替市場が円安となったこともプラスに寄与しました。基準価額は前期末比で上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2020年10月13日 ～2021年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	144円	1.353%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,617円です。
(投信会社)	( 81)	(0.759)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 58)	(0.550)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 0)	(0.002)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.001)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.008	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.005)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.003)	
(d) その他費用	3	0.024	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.006)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 1)	(0.013)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	147	1.389	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

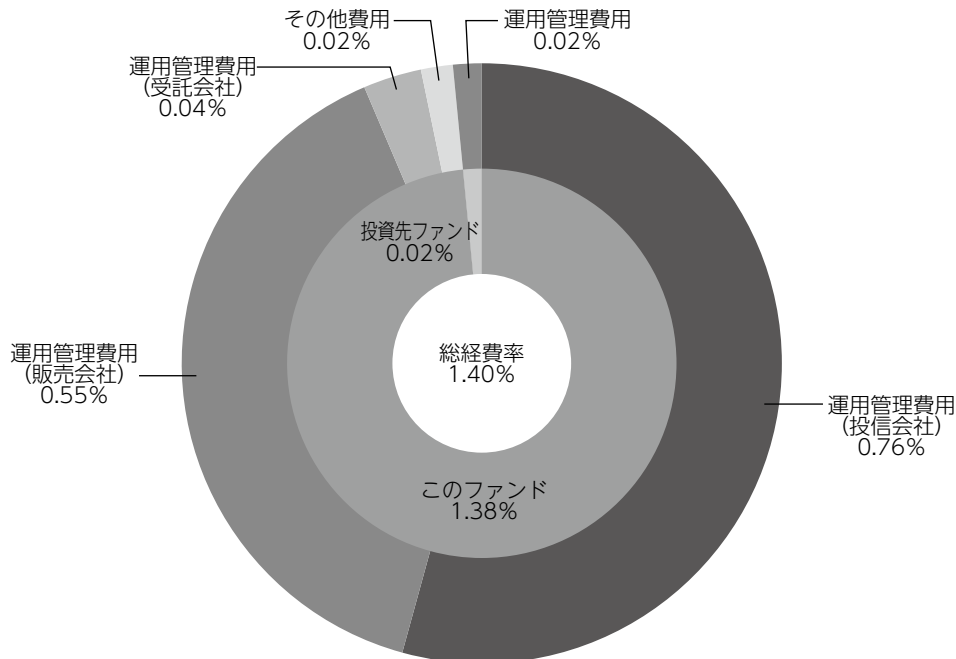
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



総経費率 (①+②)	1.40%
①このファンドの費用の比率	1.38%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

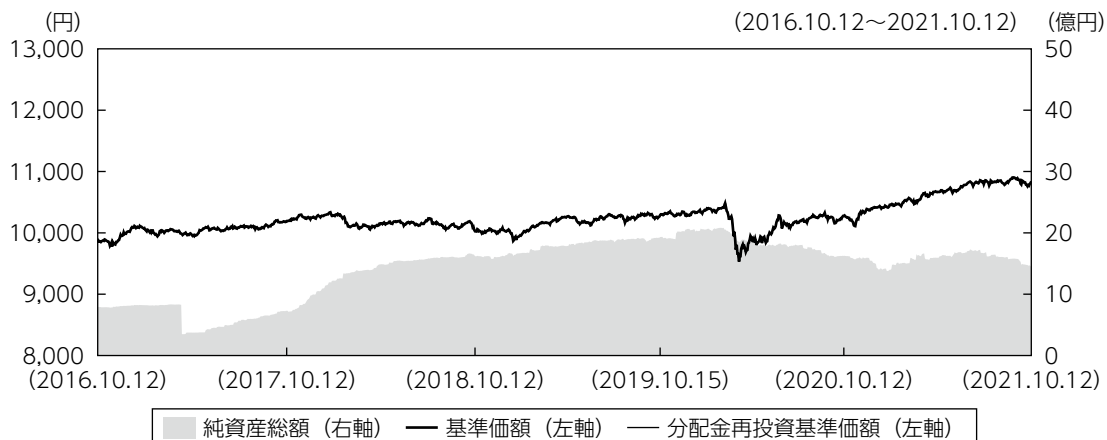
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



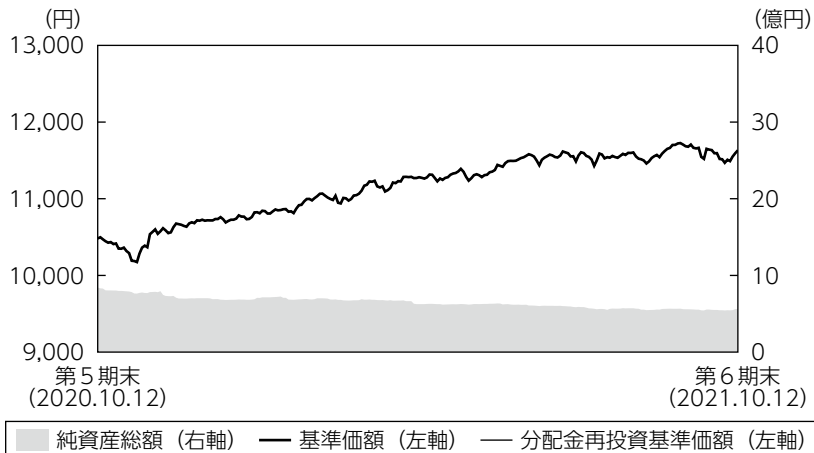
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年10月12日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2016年10月12日 期首	2017年10月12日 決算日	2018年10月12日 決算日	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,850	10,192	10,026	10,289	10,277	10,838
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	3.5	△1.6	2.6	△0.1	5.5
純資産総額 (百万円)	789	728	1,618	1,930	1,624	1,440

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

グローバル8資産ラップファンド (中立型)

基準価額等の推移



第6期首：10,482円  
 第6期末：11,632円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：11.0%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国の大統領選挙を巡る政治不透明感が払拭されたことや、新型コロナウイルスワクチンの接種拡大による経済活動正常化に対する期待の高まりを受けた内外の株式市場、内外リート市場、商品市場の上昇がプラスに寄与しました。また、為替市場が円安となったこともプラスに寄与しました。基準価額は前期末比で上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2020年10月13日 ～2021年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	151円	1.353%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,156円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 85)	(0.759)	
(販売会社)	( 61)	(0.550)	
(受託会社)	( 5)	(0.044)	
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 0)	(0.003)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.002)	
(投資証券)	( 0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	2	0.015	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 1)	(0.008)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.001)	
(投資証券)	( 1)	(0.006)	
(d) その他費用	5	0.043	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 1)	(0.013)	
(監査費用)	( 0)	(0.004)	
(その他)	( 3)	(0.026)	
合計	158	1.418	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

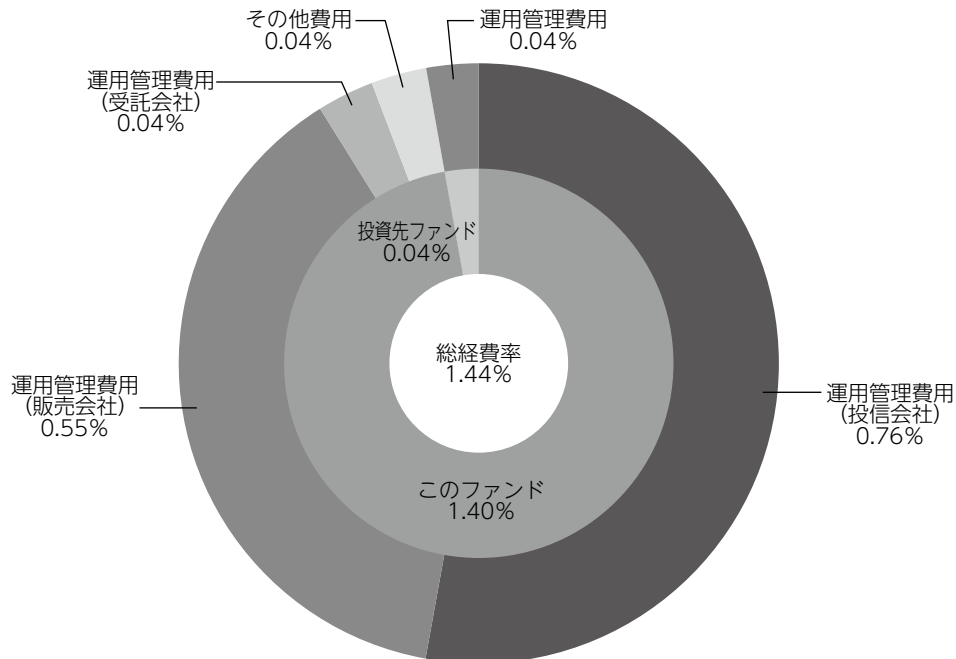
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.44%です。



総経費率 (①+②)	1.44%
①このファンドの費用の比率	1.40%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

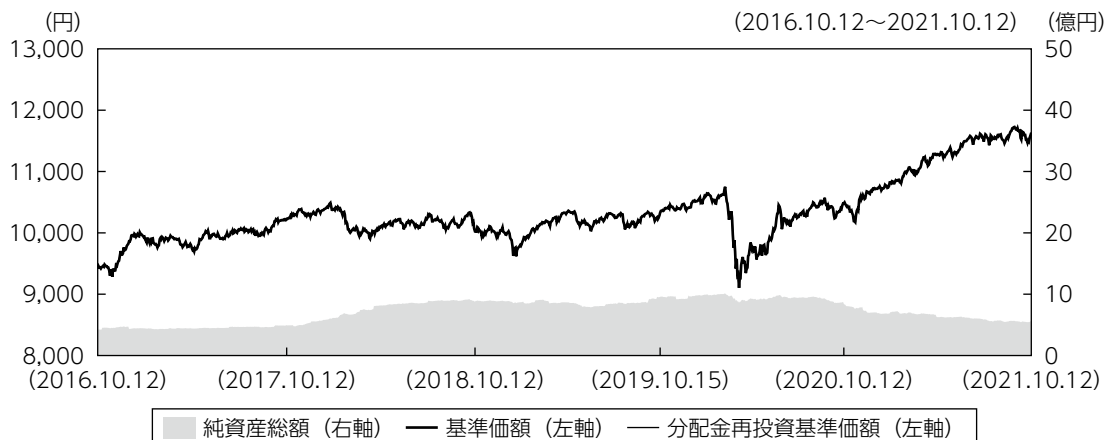
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## 最近5年間の基準価額等の推移



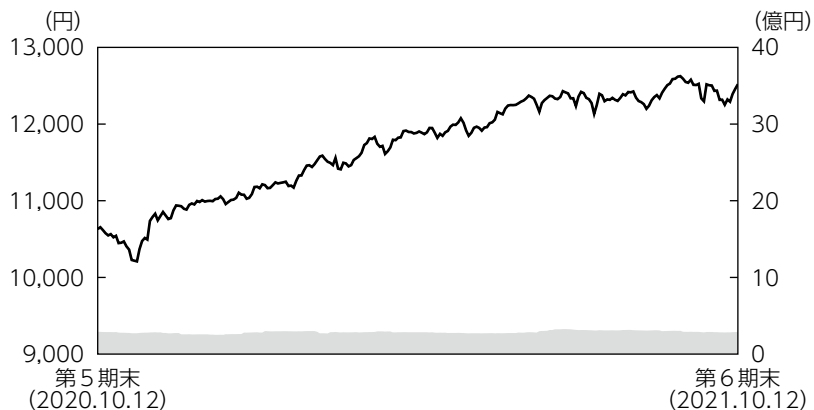
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年10月12日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2016年10月12日 期首	2017年10月12日 決算日	2018年10月12日 決算日	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,420	10,229	10,022	10,329	10,482	11,632
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	8.6	△2.0	3.1	1.5	11.0
純資産総額 (百万円)	421	494	879	957	841	561

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

グローバル8資産ラップファンド（積極型）

■ 基準価額等の推移



第6期首：10,631円  
 第6期末：12,519円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：17.8%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

米国の大統領選挙を巡る政治不透明感が払拭されたことや、新型コロナウイルスワクチンの接種拡大による経済活動正常化に対する期待の高まりを受けた内外の株式市場、内外リート市場、商品市場の上昇がプラスに寄与しました。また、為替市場が円安となったこともプラスに寄与しました。基準価額は前期末比で上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2020年10月13日 ～2021年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	158円	1.353%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,713円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 89)	(0.759)	
(販売会社)	( 64)	(0.550)	
(受託会社)	( 5)	(0.044)	
(b) 売買委託手数料	1	0.010	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 1)	(0.005)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.002)	
(投資証券)	( 0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	2	0.021	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 1)	(0.012)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.001)	
(投資証券)	( 1)	(0.008)	
(d) その他費用	7	0.061	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 2)	(0.019)	
(監査費用)	( 0)	(0.004)	
(その他)	( 4)	(0.038)	
合計	169	1.445	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

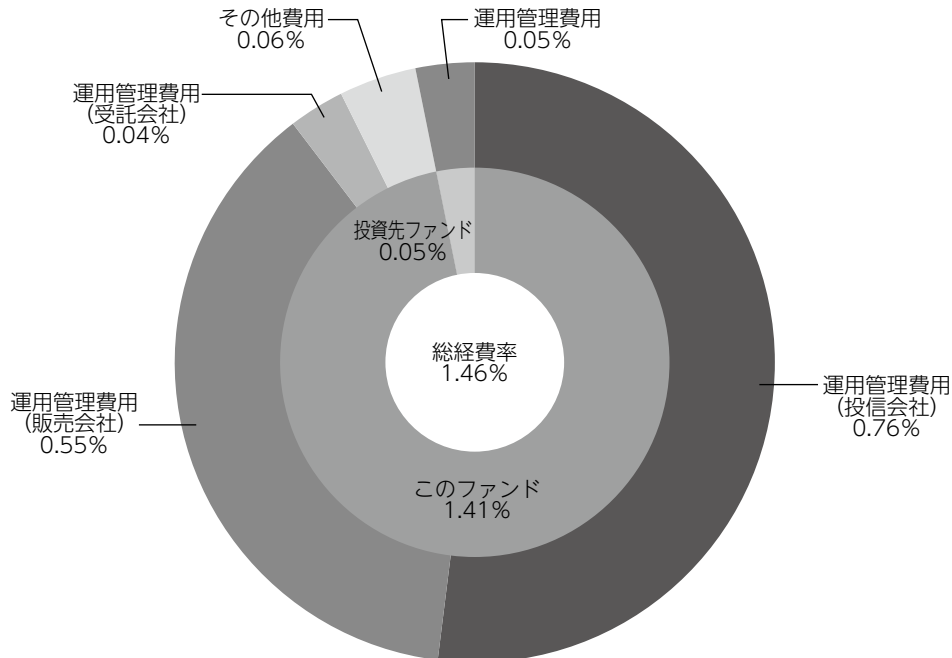
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



総経費率 (①+②)	1.46%
①このファンドの費用の比率	1.41%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年10月12日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2016年10月12日 期首	2017年10月12日 決算日	2018年10月12日 決算日	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,010	10,277	10,024	10,362	10,631	12,519
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.1	△2.5	3.4	2.6	17.8
純資産総額 (百万円)	279	352	447	369	289	288

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 投資環境

国内株式市場は、期初は下落して始まりましたが、2020年11月から2021年3月半ばまでは世界的な低金利の継続や新型コロナウイルスのワクチン開発期待などを受けて続伸しました。その後は、新型コロナウイルスの感染状況、ワクチン接種の進展、米国長期金利の動向などを要因として、一進一退の相場展開となりました。9月から期末にかけては、菅首相の退陣と共に上昇した後、岸田新首相の政策不安や米国の金利上昇などを要因として下落しました。

国内債券市場は利回りは上昇（価格は下落）しました。期初から2021年2月にかけては国内株式市場の上昇などを受けて利回りは上昇しました。3月から8月にかけては、新型コロナウイルスの感染収束が見通せない中、国内景気の先行き不透明感が意識され利回りは低下（価格は上昇）しました。9月から期末にかけては、米国で年内の資産買い入れ縮小が示唆されたことや、エネルギー価格の上昇を受けインフレ懸念が高まったことなどを背景に、利回りは上昇しました。

先進国株式市場は上昇しました。期初は米国の大統領選挙を巡る不透明感などから調整しました。2020年11月以降は新型コロナウイルスのワクチン開発や接種の進展などを受け堅調に推移し、2021年に入っても変異株の感染拡大による不透明感や米国のインフレ加速への懸念などから調整する場面も見られましたが、経済活動正常化への期待感やF R B（米連邦準備理事会）議長が利上げを急がないとの姿勢を示したことを受け、堅調に推移し期末を迎えました。

先進国債券市場では、米国債、ドイツ債の利回りはともに上昇しました。米国債は、新型コロナウイルスのワクチン普及や追加経済対策により米景気回復が加速するとの見方や、F O M C（米連邦公開市場委員会）で早期にテーパリング（量的金融緩和の段階的縮小）が開始される可能性が示されたことを受けて利回りは上昇しました。ドイツ債についても、E C B（欧州中央銀行）が資産買い入れペースを減速させるとの見方などを受けて利回りは上昇しました。

新興国株式市場は上昇しました。2020年11月以降、新型コロナウイルスのワクチン開発や接種の進展、経済活動正常化への期待感を受け堅調に推移しました。2021年2月に入ると米国長期金利の上昇などから上値の重い展開となりました。その後、インドでの新規感染者数の減少などが好感され、中国株やインド株を中心に上昇しました。7月以降は中国のインターネット企業に対する監督強化が嫌気されたことや、中国大手不動産会社の破綻懸念などから調整して期末を迎えました。

新興国債券市場の利回りは上昇しました。米国長期金利は新型コロナウイルスワクチンの普及や追加経済対策による米景気回復が加速したこと、金融緩和縮小観測の高まりなどから上昇しました。スプレッド（米国債との利回り格差）は期初はワクチン普及による経済活動の回復期待から縮小の動きとなりました。以降は新型コロナウイルスの感染拡大や米欧を中心とした金融緩和姿勢の継続と縮小の観測が交錯する展開となり上下に振れる展開となりました。スプレッドは期を通じては縮小となりました。

国内リート市場は上昇しました。期初は新型コロナウイルスのワクチン開発への期待やその後の欧米でのワクチン接種の進展が相場を支えました。中旬以降は国内におけるワクチン接種の進展、長期金利の低位安定や相対的に高い配当利回りに着目した資金流入などを背景に堅調な推移となりました。期末にかけては利益確定の売りや相次ぐ公募増資による需給悪化懸念などにより、やや軟調な推移となりました。

外国リート市場は上昇しました。米国リート市場は新型コロナウイルスのワクチン接種の進展による経済正常化への期待や、大型経済対策法案の可決を受け堅調に推移した後、期末には中国大手不動産を巡る懸念から上昇幅を縮小しました。欧州リート市場はワクチン接種の進展が支援材料となり上昇しました。豪州リート市場は期半ばにロックダウンを受けて下落する局面がありましたが、その後は好調な経済指標の発表などから上昇しました。

原油価格は上昇しました。バイデン新政権による追加経済対策への期待や米欧での新型コロナウイルスワクチン接種の進展、株価上昇などによりリスク選好の動きが高まったことなどが上昇要因となりました。

為替市場では多くの先進国通貨に対して円安の動きとなりました。米ドル/円相場は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済活動の正常化に対する期待感等から米国の金利が大きく上昇し内外金利差が拡大する中、円安米ドル高となりました。その他の主要通貨に対しても、経済活動の正常化に対する期待感等から主要国の金利が大きく上昇し内外金利差が拡大する中、円安現地通貨高となりました。

## ■ ポートフォリオについて

各ファンドとも組入れる8資産の保有比率について、長期的戦略に基づく資産配分比率をベースに、短・中期的戦略に基づく資産配分を行いました。長期的戦略、短・中期的戦略については以下の通りです。

### 長期的戦略

2021年4月に長期的戦略に基づく資産配分比率の変更を行いました。安定型、中立型、積極型とも、リスク対比でのリターン効率および為替リスク要因等を勘案し、国内株式と新興国株式等の組入比率を引き上げた一方、リスク対比でのリターン効率の向上が相対的に低かった世界リート、コモディティ等の組入比率を引き下げました。

### 短・中期的戦略

期初には、金融緩和環境の長期化等を背景にベースとなる米長期金利は低位で推移すると予想し新興国債券を長期的戦略に対して引き上げ、割高な状況にある世界リートを長期的戦略に対して引き下げたポジションとしました。2021年1月は米国の追加経済対策期待等を背景にリスクオンムードが高まりましたがバリエーション面で割高と見られた先進国株式、資金流入の過熱感からの調整を見込んだ新興国株式、新興国債券を長期的戦略に対して引き下げたポジションとしキャッシュを引き上げました。4月には新型コロナウイルスワクチンの接種拡大による景気回復期待が高まりました。各資産とも長期的戦略に対し中立のポジションを取りました。7月には景気回復期待の高まりに加え緩和的な金融環境が継続したマーケットとなり各資産とも長期的戦略に対し中立のポジションを維持しました。10月には国内の新型コロナウイルス感染の縮小傾向からなる経済再開、衆議院選挙後の新政権への期待等から国内株式を長期的戦略に対して引き上げたポジションとし、中国大手不動産の債務不履行が相場への重しになるとの懸念から新興国株式は長期的戦略に対して引き下げたポジションとしました。

○組入ファンドの当作成期間の騰落率および期末時点の組入比率

投資対象資産	組入ファンド	騰落率	組入比率		
			安定型	中立型	積極型
国内株式	国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	23.2%	6.3%	13.4%	17.0%
国内債券	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	△0.1%	60.1%	32.9%	9.9%
先進国株式	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	35.9%	8.4%	13.8%	22.5%
先進国債券	外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	3.4%	8.3%	13.5%	15.1%
新興国株式	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	21.9%	2.1%	3.5%	5.7%
新興国債券	iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF	8.9%	6.4%	9.3%	10.5%
世界リート	J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	23.5%	4.2%	6.9%	11.2%
	外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	38.0%			
コモディティ	コモディティインデックス・マザーファンド	70.8%	1.8%	2.8%	4.7%
現金等	-	-	2.5%	3.9%	3.4%

(注1) iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETFの騰落率は、分配金再投資基準価額を円換算して計算したものです。

(注2) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

各組入ファンドはベンチマークのリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

○組入ファンドのベンチマーク

組入ファンド	ベンチマーク
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	NOMURA-BPI総合
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）
iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF	J. P. モルガン EMBI グローバル・コア・インデックス
J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	東証REIT指数（配当込み）
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	S&P 先進国 REITインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）
コモディティインデックス・マザーファンド	S&P GSCI商品指数



## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、各ファンドとも無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当		期
	安定型	中立型	積極型
当期分配金（税引前）	-円	-円	-円
対基準価額比率	-%	-%	-%
当期の収益	-円	-円	-円
当期の収益以外	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	838円	1,631円	2,518円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

短・中期的戦略に基づく資産配分比率に維持されるように資産配分を行います。なお、長期的戦略に基づく資産配分比率は原則として年1回見直しを行います。また、短・中期的戦略に基づく資産配分比率は原則として四半期毎に見直しを行います。

各組入ファンドは、引き続きベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

## お知らせ

■各ファンドが投資対象とする「J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド」において、信託金の限度額を2,000億円から5,000億円に変更する所要の約款変更を行いました。

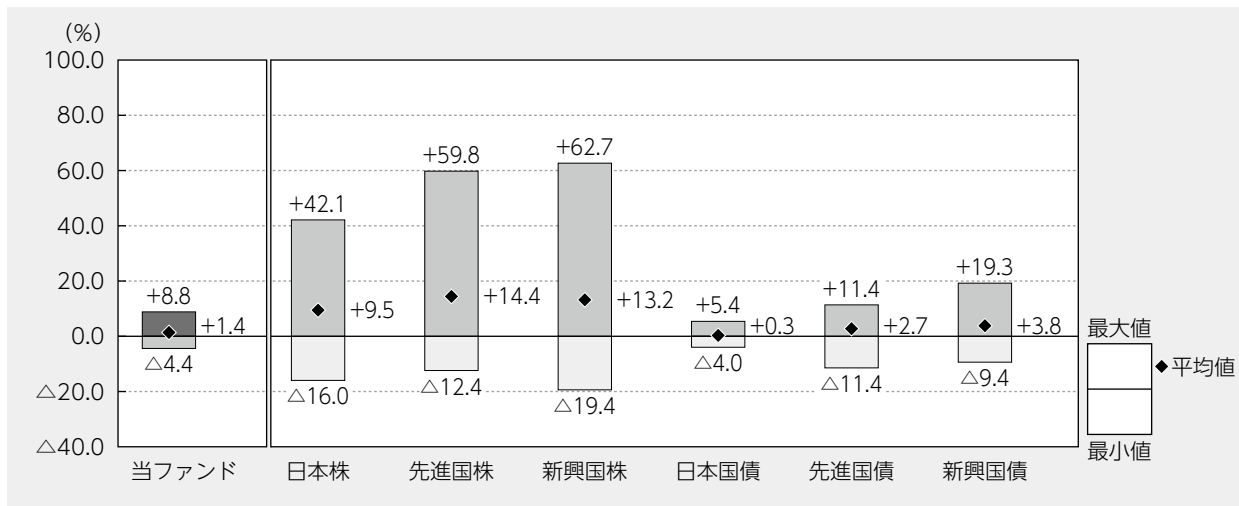
(2021年6月2日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2015年12月1日から2025年10月10日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	<p>別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。なお、短期金融資産等に直接投資する場合があります。</p> <p>別に定める投資信託証券とは、以下の投資信託証券をいいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド</li> <li>・国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド</li> <li>・外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド</li> <li>・外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド</li> <li>・エマージング株式パッシブ・マザーファンド</li> <li>・iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF</li> <li>・J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド</li> <li>・外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド</li> <li>・コモディティインデックス・マザーファンド</li> </ul>
運用方法	<p>主として、別に定める投資信託証券への投資を通じて、実質的に、国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券、新興国株式、新興国債券、世界リート、コモディティ<sup>(*)</sup>等の各資産へ投資を行い、世界の様々な資産に分散投資を行います。なお、上記のほか、短期金融資産等に直接投資する場合があります。</p> <p>(*) コモディティ（商品）への投資に際しては、投資信託証券への投資を通じて、商品指数の動きに概ね連動する投資成果をめざす債券等に実質的に投資を行います。</p> <p>各資産への投資割合は、目標リスク水準に応じて、長期的見通しに基づく基本資産配分と短・中期的見通しに基づく資産配分を組み合わせで決定します。上記投資割合は定期的に見直しを行うほか、市場環境等によっては不定期に見直しを行う場合があります。なお、市場環境等によっては、一部の資産への投資割合がゼロとなる場合があります。</p> <p>コモディティへの投資割合は、原則として、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>各資産への投資割合について、水戸証券株式会社の投資助言を受けます。</p> <p>別に定める投資信託証券は、継続的にモニタリングを行い、必要な場合は追加、除外、入替えを行う場合があります。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</p>
分配方針	<p>決算日（原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

### グローバル8資産ラップファンド（安定型）



当ファンド：2016年12月～2021年9月

代表的な資産クラス：2016年10月～2021年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

#### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

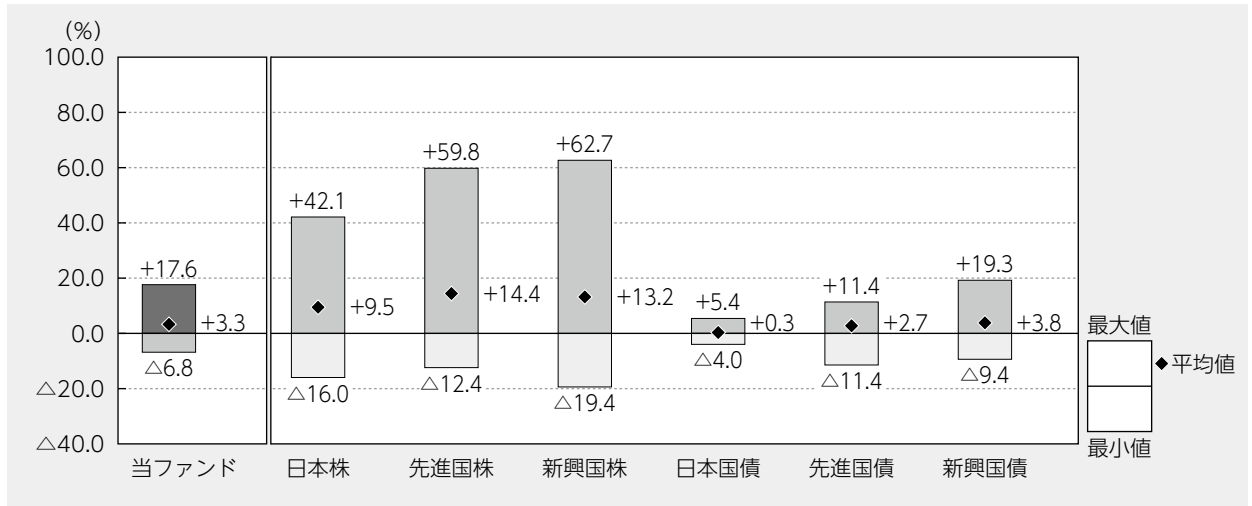
先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

グローバル8資産ラップファンド (中立型)



当ファンド : 2016年12月~2021年9月

代表的な資産クラス : 2016年10月~2021年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

\*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

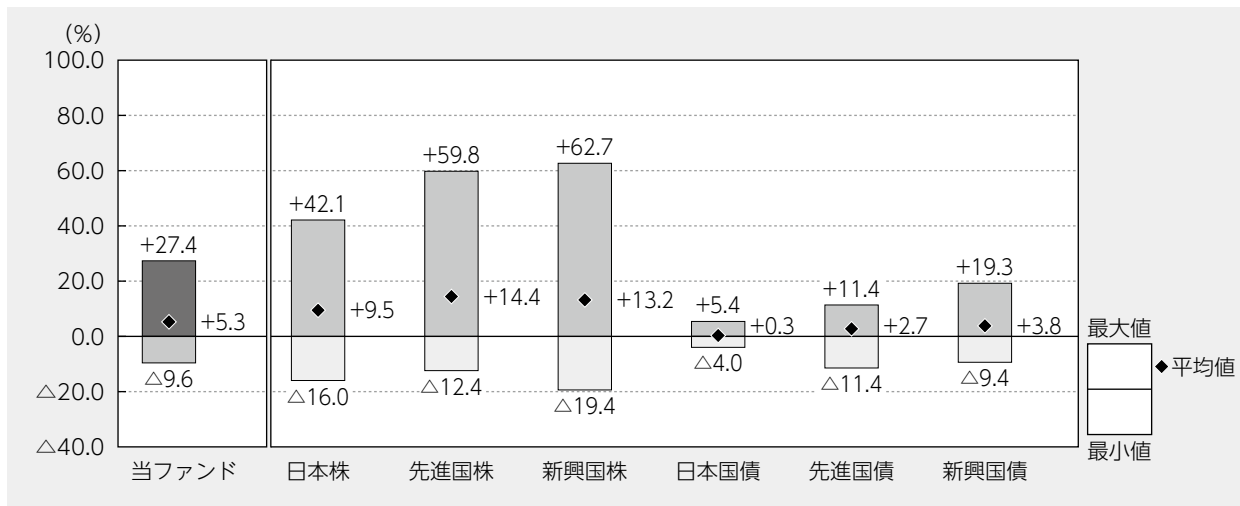
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## グローバル8資産ラップファンド（積極型）



当ファンド : 2016年12月～2021年9月

代表的な資産クラス : 2016年10月～2021年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2021年10月12日現在)

#### グローバル8資産ラップファンド (安定型)

#### ◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

	当期末
	2021年10月12日
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	60.1%
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	8.4
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	8.3
国内株式パッシブ・ファンド (最適化法)・マザーファンド	6.3
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	3.8
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	2.1
コモディティインデックス・マザーファンド	1.8
J-REITインデックスファンド・マザーファンド	0.4
その他	8.8

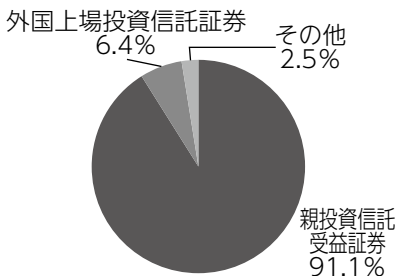
- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注2) 組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。  
 (注3) 上場投資信託証券はその他に含めて集計しています。  
 (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

#### ◆組入上位銘柄

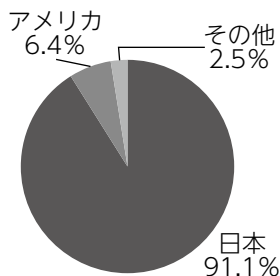
銘柄名	通貨	比率
ISHARES JP MORGAN USD EMERGING MARKETS BOND ETF	アメリカ・ドル	6.4%
組入銘柄数	1銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

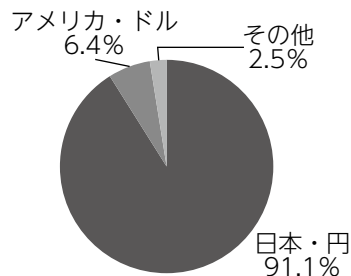
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	当期末
	2021年10月12日
純資産総額	1,440,521,315円
受益権総口数	1,329,096,008口
1万口当たり基準価額	10,838円

(注) 当期中における追加設定元本額は767,972,440円、同解約元本額は1,019,303,873円です。

組入ファンドの概要については、24ページ以降をご覧ください。

## グローバル8資産ラップファンド (中立型)

### ◆組入ファンド等

(組入ファンド数：8ファンド)

	当期末
	2021年10月12日
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	32.9%
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	13.8
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	13.5
国内株式パッシブ・ファンド (最適化法)・マザーファンド	13.4
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	6.3
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	3.5
コモディティインデックス・マザーファンド	2.8
J-REITインデックスファンド・マザーファンド	0.6
その他	13.2

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全ファンドに関する詳細な情報については、運用報告書(全体版)に記載されております。

(注3) 上場投資信託証券はその他に含めて集計しています。

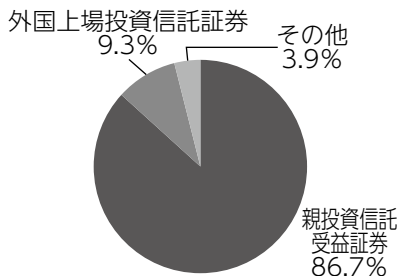
(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### ◆組入上位銘柄

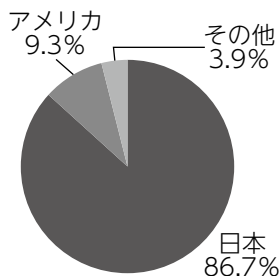
銘柄名	通貨	比率
ISHARES JP MORGAN USD EMERGING MARKETS BOND ETF	アメリカ・ドル	9.3%
組入銘柄数	1銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

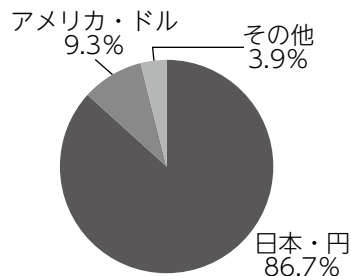
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

## 純資産等

項目	当期末
	2021年10月12日
純資産総額	561,307,738円
受益権総口数	482,558,733口
1万口当たり基準価額	11,632円

(注) 当期中における追加設定元本額は142,249,332円、同解約元本額は462,063,629円です。

組入ファンドの概要については、24ページ以降をご覧ください。

グローバル8資産ラップファンド (積極型)

◆組入ファンド等 (組入ファンド数: 8ファンド)

	当期末
	2021年10月12日
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	22.5%
国内株式パッシブ・ファンド (最適化法)・マザーファンド	17.0
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	15.1
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	10.2
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	9.9
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	5.7
コモディティインデックス・マザーファンド	4.7
J-REITインデックスファンド・マザーファンド	1.0
その他	13.9

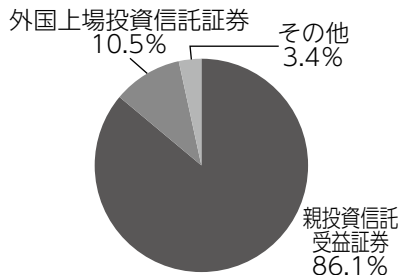
- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注2) 組入全ファンドに関する詳細な情報については、運用報告書(全体版)に記載されております。  
 (注3) 上場投資信託証券はその他に含めて集計しています。  
 (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆組入上位銘柄

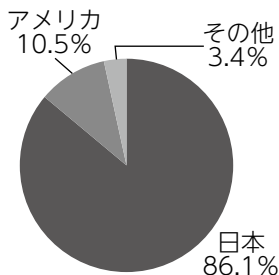
銘柄名	通貨	比率
ISHARES JP MORGAN USD EMERGING MARKETS BOND ETF	アメリカ・ドル	10.5%
組入銘柄数	1銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

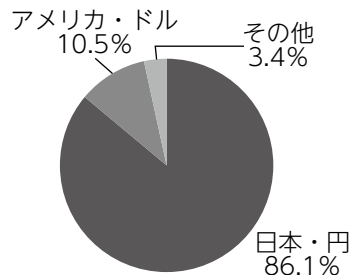
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆純資産等

項目	当期末
	2021年10月12日
純資産総額	288,229,951円
受益権総口数	230,234,648口
1万口当たり基準価額	12,519円

(注) 当期中における追加設定元本額は117,477,278円、同解約元本額は159,346,760円です。

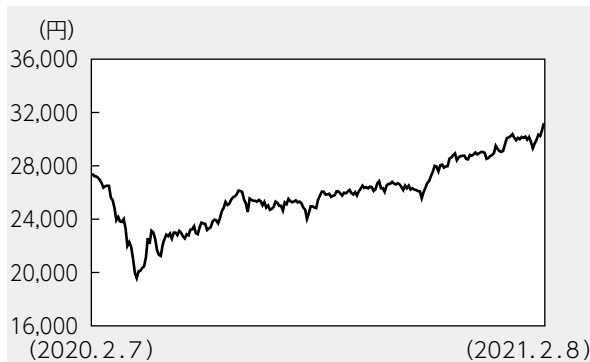
組入ファンドの概要については、24ページ以降をご覧ください。



## 組入ファンドの概要

【国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド】（計算期間 2020年2月8日～2021年2月8日）

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	3.0%
ソニー	日本・円	2.8
ソフトバンクグループ	日本・円	2.7
キーエンス	日本・円	2.1
任天堂	日本・円	1.3
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	1.3
日本電産	日本・円	1.3
リクルートホールディングス	日本・円	1.3
信越化学工業	日本・円	1.2
日本電信電話	日本・円	1.2
組入銘柄数	2,183銘柄	

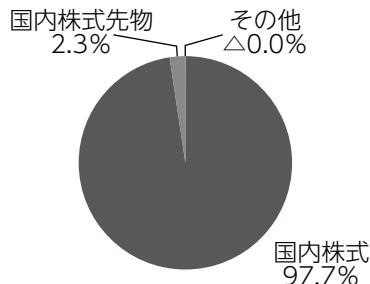
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	0円	0.001%
(株式)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

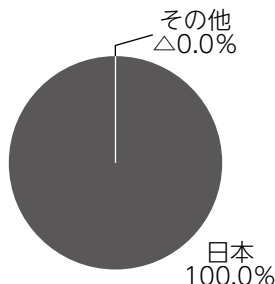
### ◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
TOPIX 先物	買建	2.3%
組入銘柄数	1銘柄	

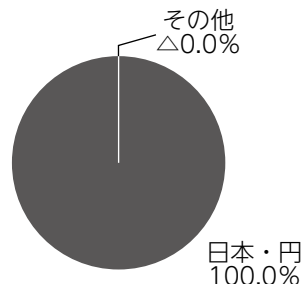
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（25,909円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

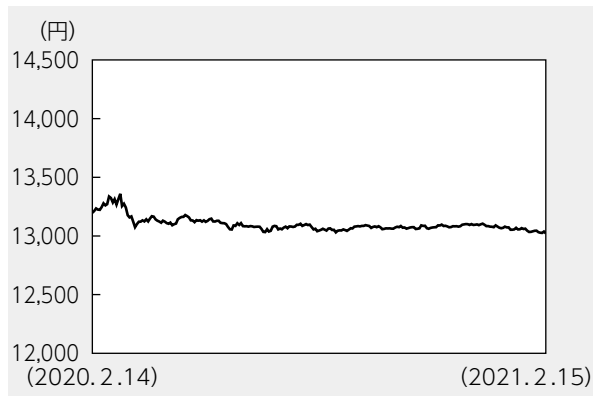
(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2020年2月15日～2021年2月15日)

◆基準価額の推移



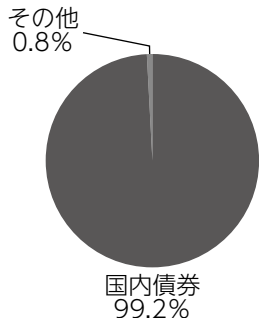
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
3 2 3回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.2%
3 3 9回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.1
3 4 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.1
3 3 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.1
1 4 4回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
3 5 0回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
3 4 2回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
1 3 8回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	0.9
1 3 2回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	0.9
3 4 6回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
組入銘柄数	401銘柄	

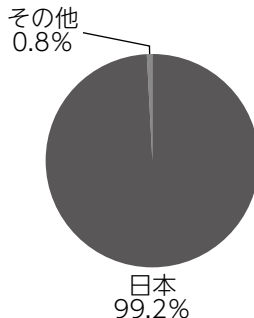
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

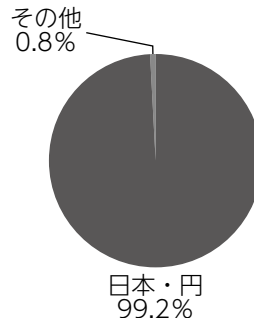
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

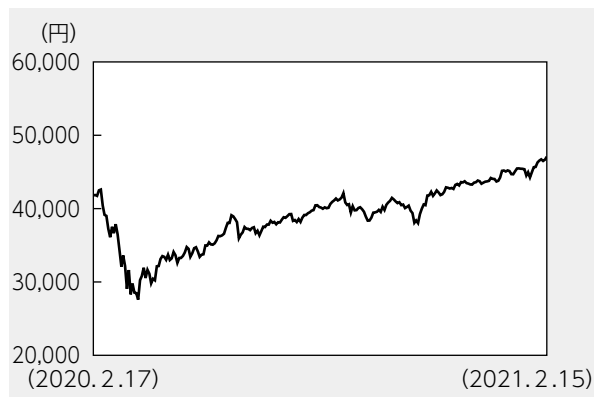
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド】

◆基準価額の推移



(計算期間 2020年2月18日～2021年2月15日)

◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.6%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.5
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.7
FACEBOOK INC	アメリカ・ドル	1.3
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.2
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.2
TESLA INC	アメリカ・ドル	1.2
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	0.9
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	0.8
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	0.7
組入銘柄数	1,284銘柄	

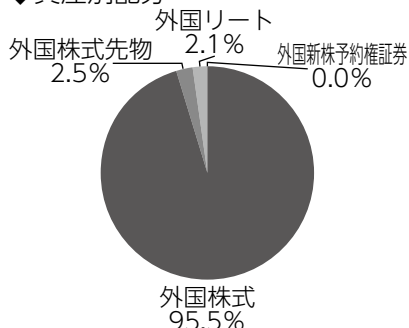
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.004%
(株式)	( 1)	(0.002)
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)
(先物・オプション)	( 1)	(0.002)
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)
(投資証券)	( 0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	5	0.013
(株式)	( 5)	(0.012)
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)
(投資証券)	( 0)	(0.000)
(c) その他費用	9	0.024
(保管費用)	( 0)	(0.000)
(その他)	( 9)	(0.024)
合計	16	0.040

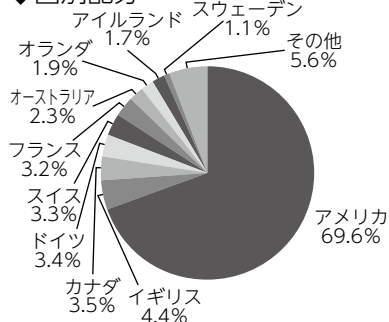
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUT	買建	1.9%
DJ EURO STOXX 50	買建	0.4
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.1
S&P/TSE 60 IX FUT	買建	0.1
SPI 200 FUTURES	買建	0.1
組入銘柄数	5銘柄	

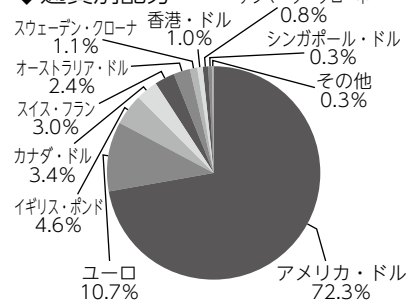
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(39,034円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、資産別配分については、現金等を考慮しておりません。

(注7) 国別配分・通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

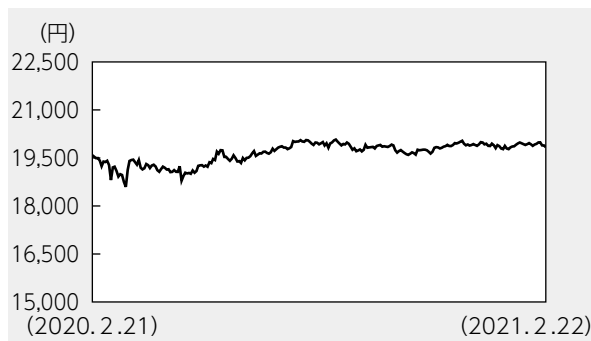
(注8) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

## 【外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2020年2月22日～2021年2月22日)

### ◆基準価額の推移



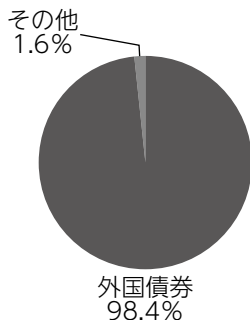
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 2.0 02/15/22	アメリカ・ドル	0.7%
US T N/B 1.75 03/31/22	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 0.125 01/15/24	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 2.0 11/30/22	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 0.875 11/15/30	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 0.25 11/15/23	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 2.75 11/15/23	アメリカ・ドル	0.5
DEUTSCHLAND 2.0 08/15/23	ユーロ	0.5
US T N/B 0.625 08/15/30	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 1.625 11/15/22	アメリカ・ドル	0.4
組入銘柄数	715銘柄	

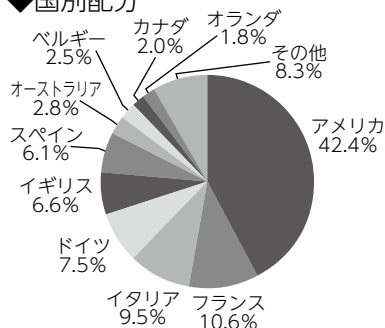
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	2円 (2) (0)	0.012% (0.011) (0.001)
合計	2	0.012

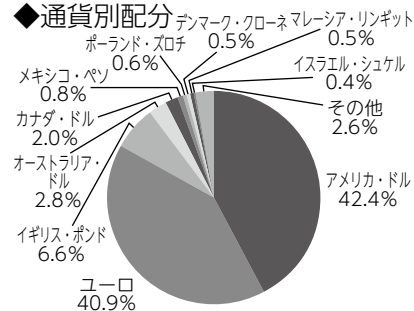
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(19,648円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分・通貨別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。

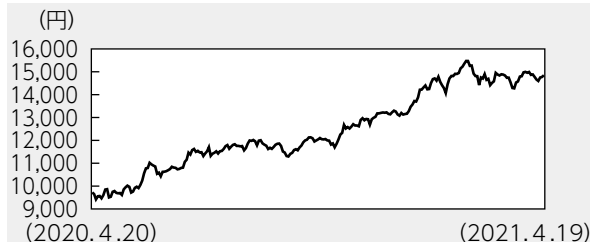
(注7) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング株式パッシブ・マザーファンド】

(計算期間 2020年4月21日～2021年4月19日)

◆基準価額の推移

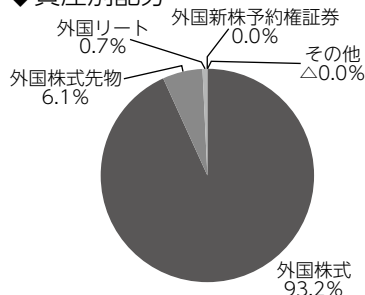


◆1万口当たりの費用明細

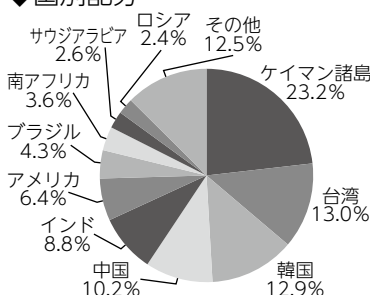
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	16円	0.129%
(株式)	(13)	(0.103)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(3)	(0.024)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	24	0.189
(株式)	(24)	(0.189)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	53	0.422
(保管費用)	(20)	(0.160)
(その他)	(33)	(0.263)
合計	92	0.740

期中の平均基準価額は12,484円です。

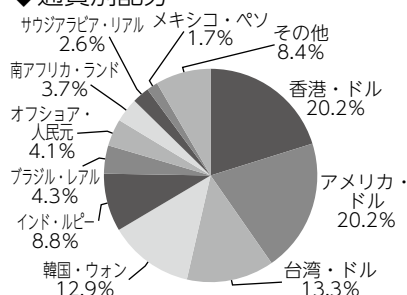
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	6.0%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	5.3
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR	アメリカ・ドル	5.1
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	4.1
MEITUAN	香港・ドル	1.5
NASPERS LTD	南アフリカ・ランド	1.2
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	0.9
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	0.9
VALE SA	ブラジル・リアル	0.8
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港・ドル	0.8
組入銘柄数	1,278銘柄	

◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
MINI MSCI EMG MKT	買建	6.1%
組入銘柄数	1銘柄	

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

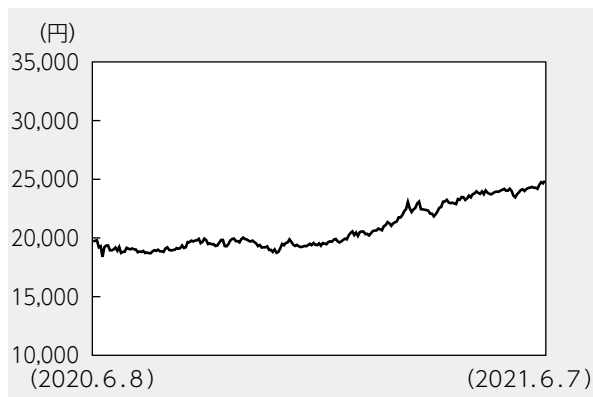
(注6) 国別配分・通貨別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) その他は、総資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[J-REITインデックスファンド・マザーファンド] (計算期間 2020年6月9日～2021年6月7日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
日本ビルファンド投資法人	日本・円	6.7%
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	5.7
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	5.0
GLP投資法人	日本・円	5.0
日本都市ファンド投資法人	日本・円	4.9
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	4.6
大和ハウスリート投資法人	日本・円	4.0
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.6
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	2.9
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	2.9
組入銘柄数	61銘柄	

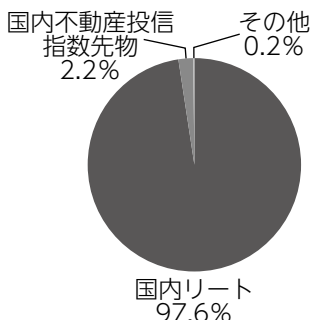
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.001% (0.001)
(投資証券)	(0)	(0.000)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は20,817円です。		

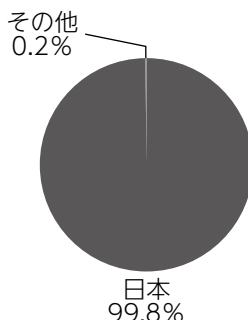
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
東証REIT	買建	2.2%
組入銘柄数	1銘柄	

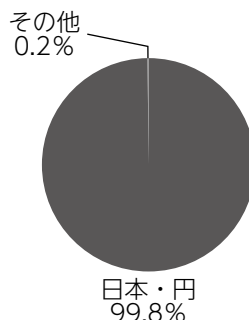
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

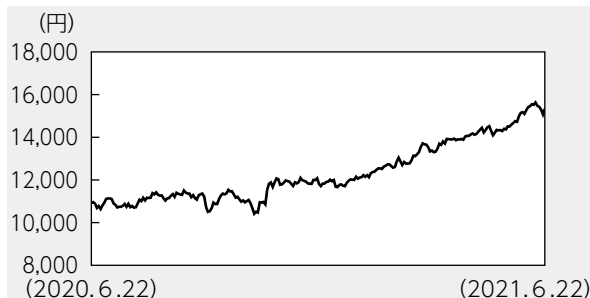


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。  
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。  
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。  
 (注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。  
 (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2020年6月23日～2021年6月22日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

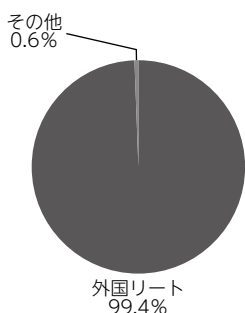
銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	5.9%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	4.8
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.0
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	2.9
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	2.8
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	2.2
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	1.9
EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	1.8
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	1.7
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	アメリカ・ドル	1.7
組入銘柄数	327銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

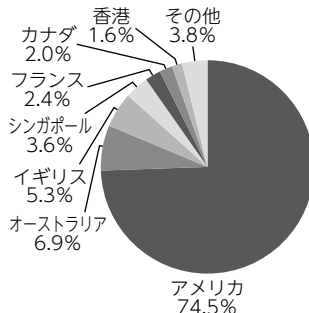
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託受益証券) (投資証券)	4円 ( 0) ( 1) ( 3)	0.033% (0.000) (0.005) (0.028)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	12 ( 1) (11)	0.096 (0.007) (0.089)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	15 ( 7) ( 8)	0.124 (0.057) (0.067)
合計	31	0.253

期中の平均基準価額は12,344円です。

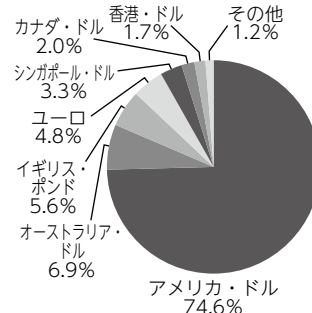
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

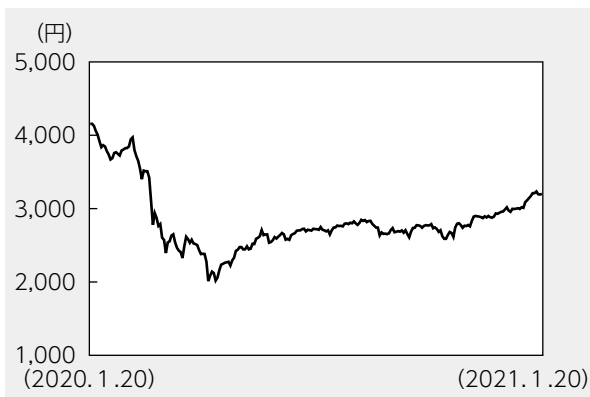


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。  
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。  
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。  
 (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。  
 (注7) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。  
 (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。



【コモディティインデックス・マザーファンド】 (計算期間 2020年1月21日～2021年1月20日)

◆基準価額の推移



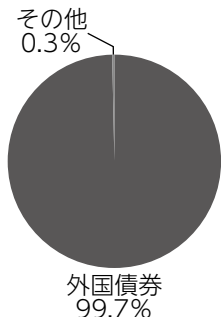
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
STAR HELIOS PLC	アメリカ・ドル	99.7%
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
組入銘柄数	1銘柄	

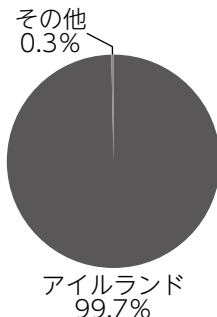
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	0円 (0) (0)	0.014% (0.014) (0.000)
合計	0	0.014

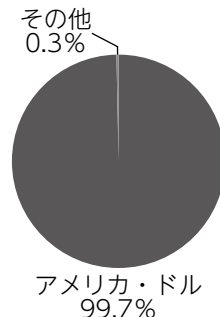
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。  
 (注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(2,833円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。  
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。  
 (注4) 国別配分は発行国で区分しています。  
 (注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。  
 (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

